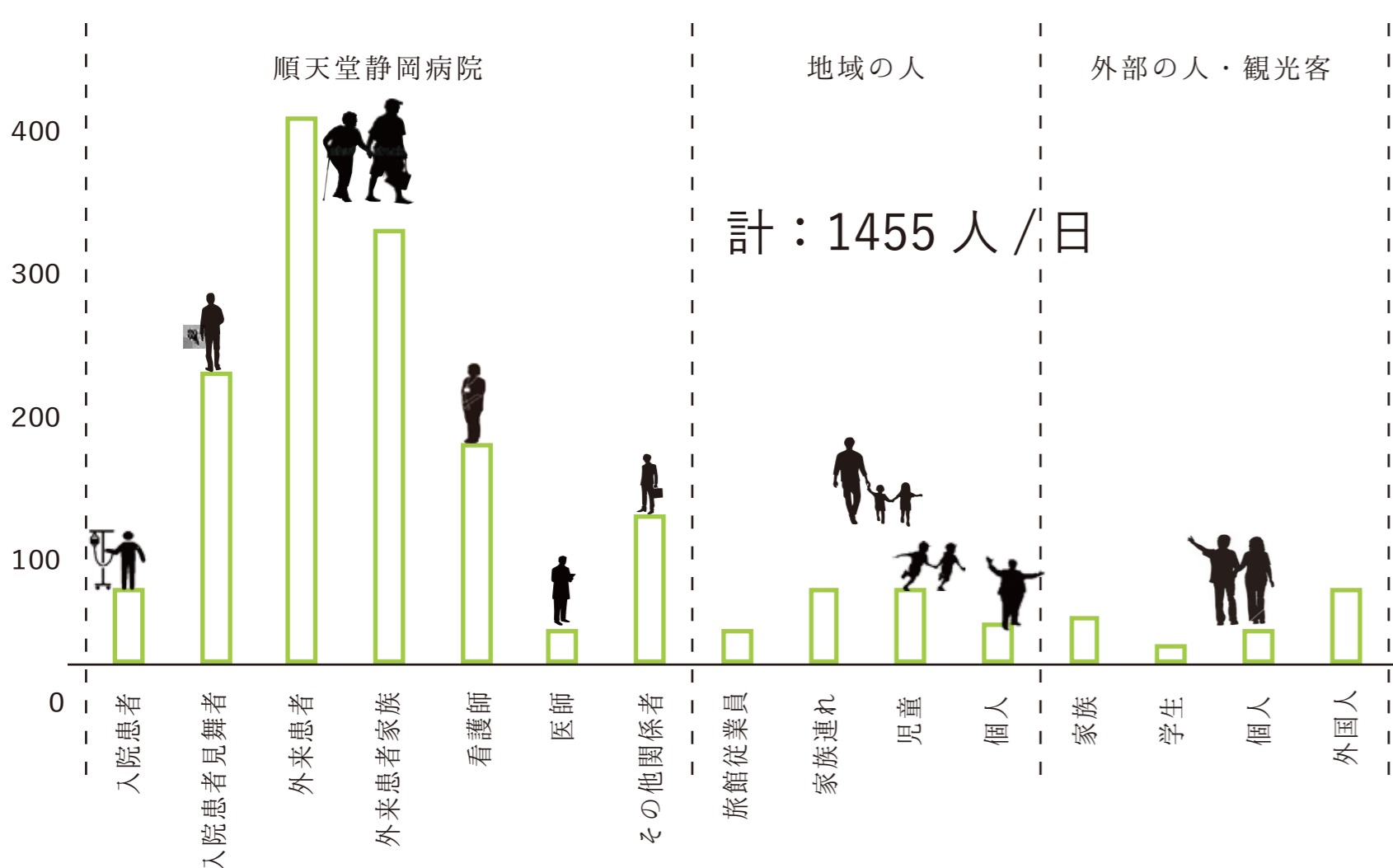


- ▷横浜国立大学 都市計画研究室
都市イノベーション学府
博士課程前期 1年 杉本 康一郎
山岸 匠
- ▷東京工業大学 国土・都市計画講座
社会理工学研究科
工学部 4年 高橋 洋貴
修士課程 1年 濱田 咲子

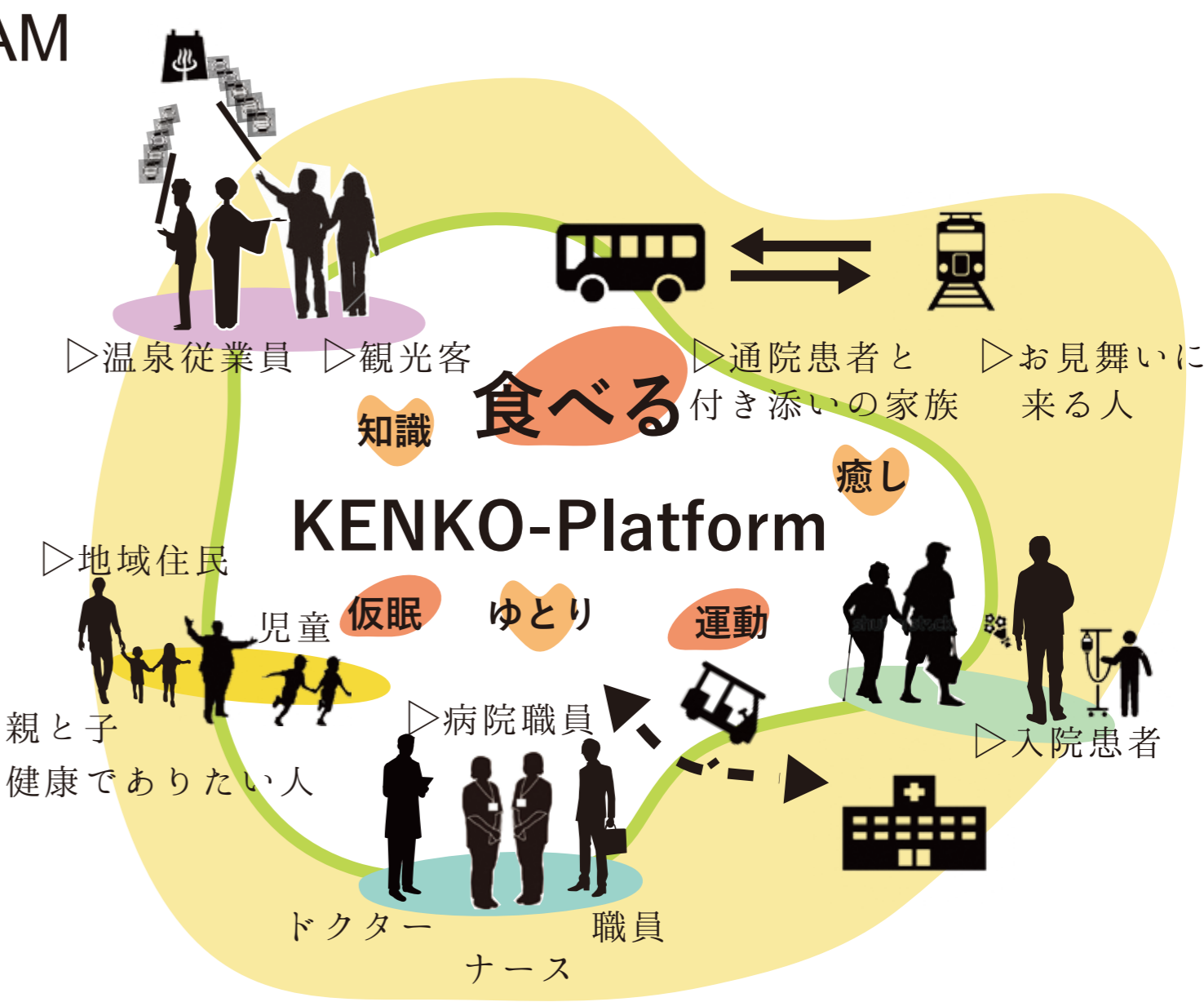
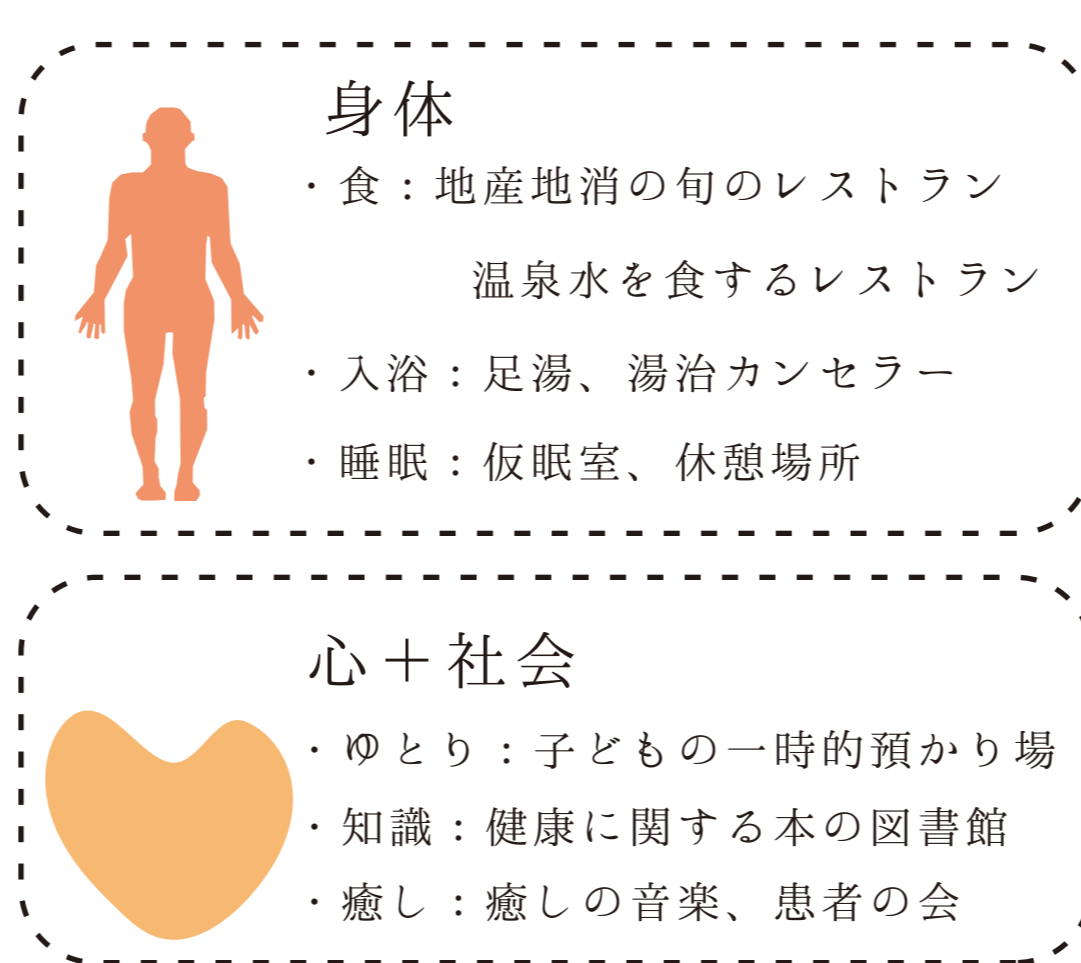
病院に来る人、温泉街・病院で働く人、
伊豆の国で暮らす人をターゲットとして
健康を中心とした
憩いの場と食の空間を丸ごと提供する。



01 | 1日のKENKO-Platform利用予想



02 | HEALTH CARE PROGRAM



食

温泉を食す

これまで入浴するだけであった温泉を食することで、内側からも温泉の効能を得ようという食の提案。

水質：単純アルカリ泉

成分の薄い温泉のため、刺激が少なく体に優しい。美肌効果がある。

長岡温泉の味：臭いもなく、まるやかな味。様々な料理への利用が期待できる。弱アルカリ性の水では素材の味が溶け出し、美味しさが引き立つ。出汁などにおすすめ。

長岡温泉の活用法提案



温泉水の鍋 / 温野菜・温泉水コーヒー・焼酎の温泉水割・かき氷・低温調理（泉温利用）

学

健康図書館

健康に関する書籍が置かれている図書館。

病気になった時、病気を防ぎたい時、家族が病気になった時など、待ち時間などに欲しい情報を手軽に手に入れられるような図書館を作る。



食

地産地消のレストラン

旬の野菜を取ることは古来より健康に良いとされている。伊豆の国で取れた野菜を集め、サラダバーなどで提供する。野菜をたくさん摂取して、栄養状況を改善する目的。



2016年オープンの横浜市区「ど根性キッチン」では、いずみ野地域で取れた野菜をサラダビューフェ形式で提供。地産地消100%を目指すレストラン。

談

湯治コンシェルジュ



湯治相談室

順天堂病院の専門医が常駐し、ひとりひとりの患者に寄り添った湯治のプランを提案。まちの足湯のあらたな活用法を生み出す

寝

リラックスルーム

地域の医療従事者、温泉従業員むけに用意する仮眠スペース。
職場にはないプライベート空間が確保され、安心して仮眠の取れる場所を提供。

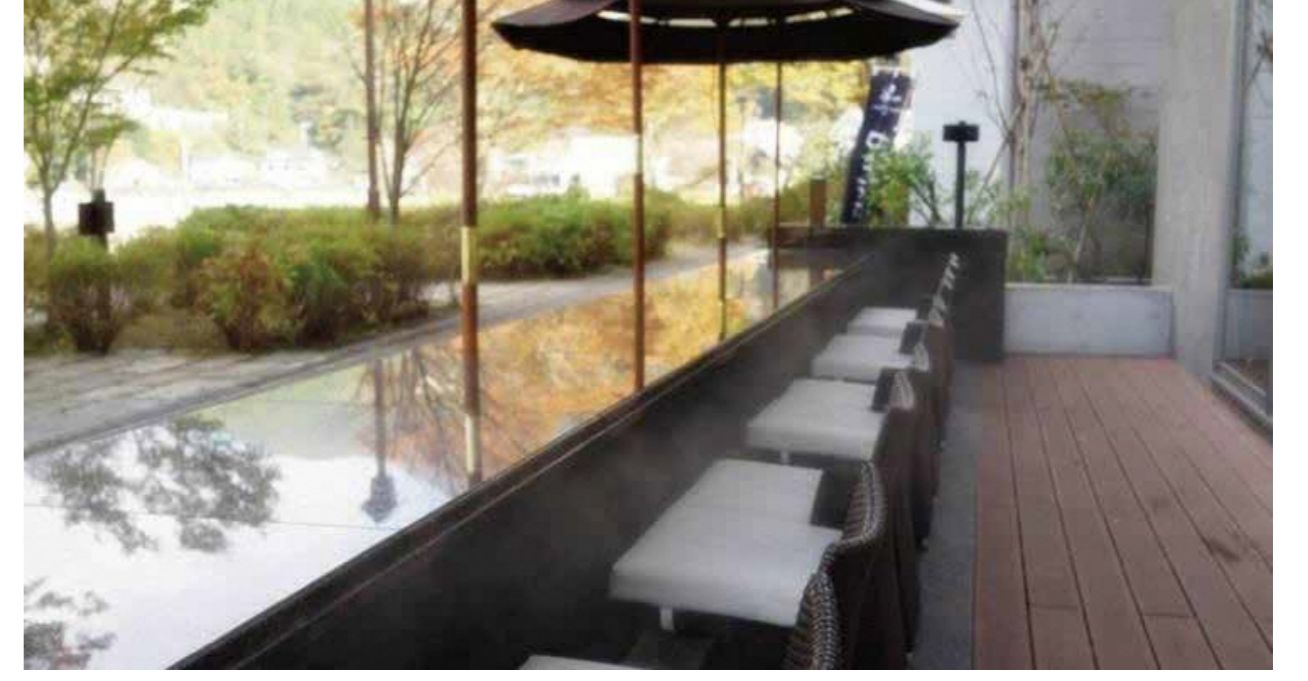


フルフラットにすると、右写真のように個室空間へと閉じることができる。

憩

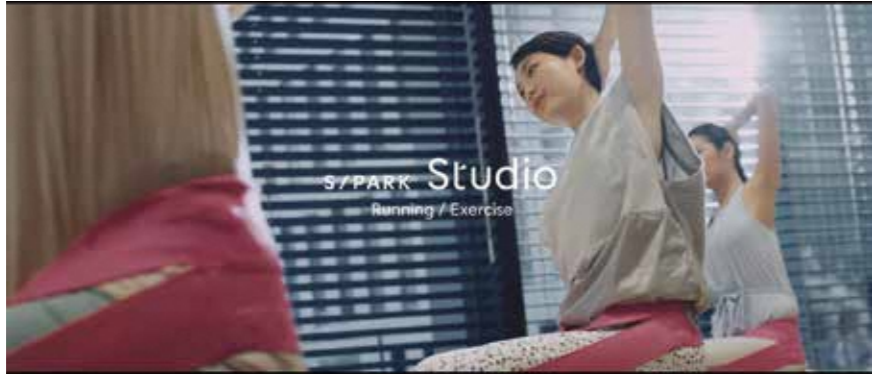
足湯カフェ

足湯に浸かりながら、ドリンクや軽食の楽しめる足湯カフェ。
病院の待ち時間や、診察後の一息に。
足の血行の促進、またネット環境を整え、コ・ワーキングスペースとしても利用が可能。



美

美肌ラボ・ヨガスタジオ



参考) 資生堂グローバルイノベーションセンター

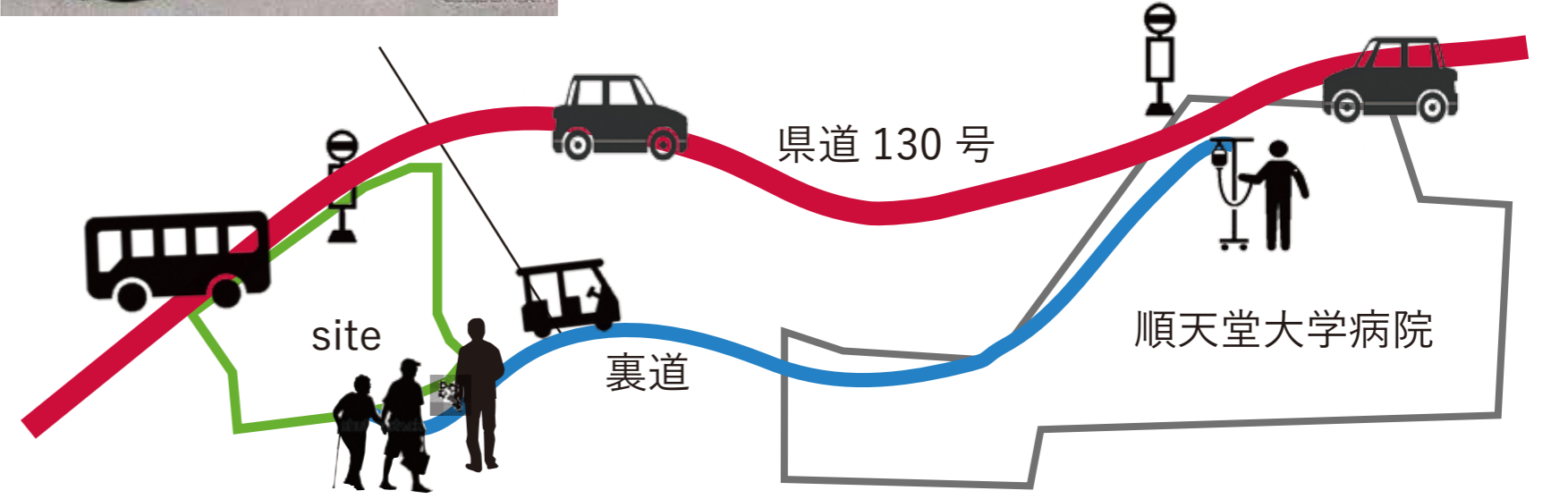
美肌効果のある長岡温泉。
働く女性や綺麗になりたい人に
温泉水を利用した化粧水や、効果的な入浴方法を伝授。
ヨガスタジオなども用意。

移

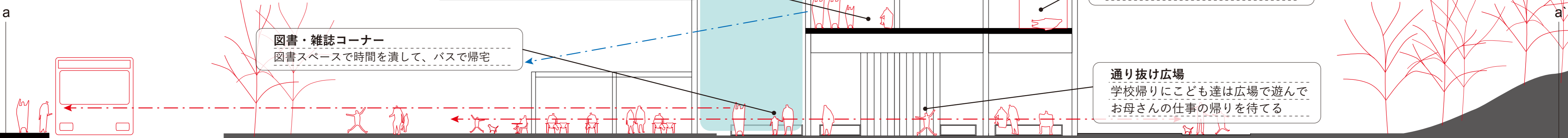
温泉駅と病院をつなぐモビリティ



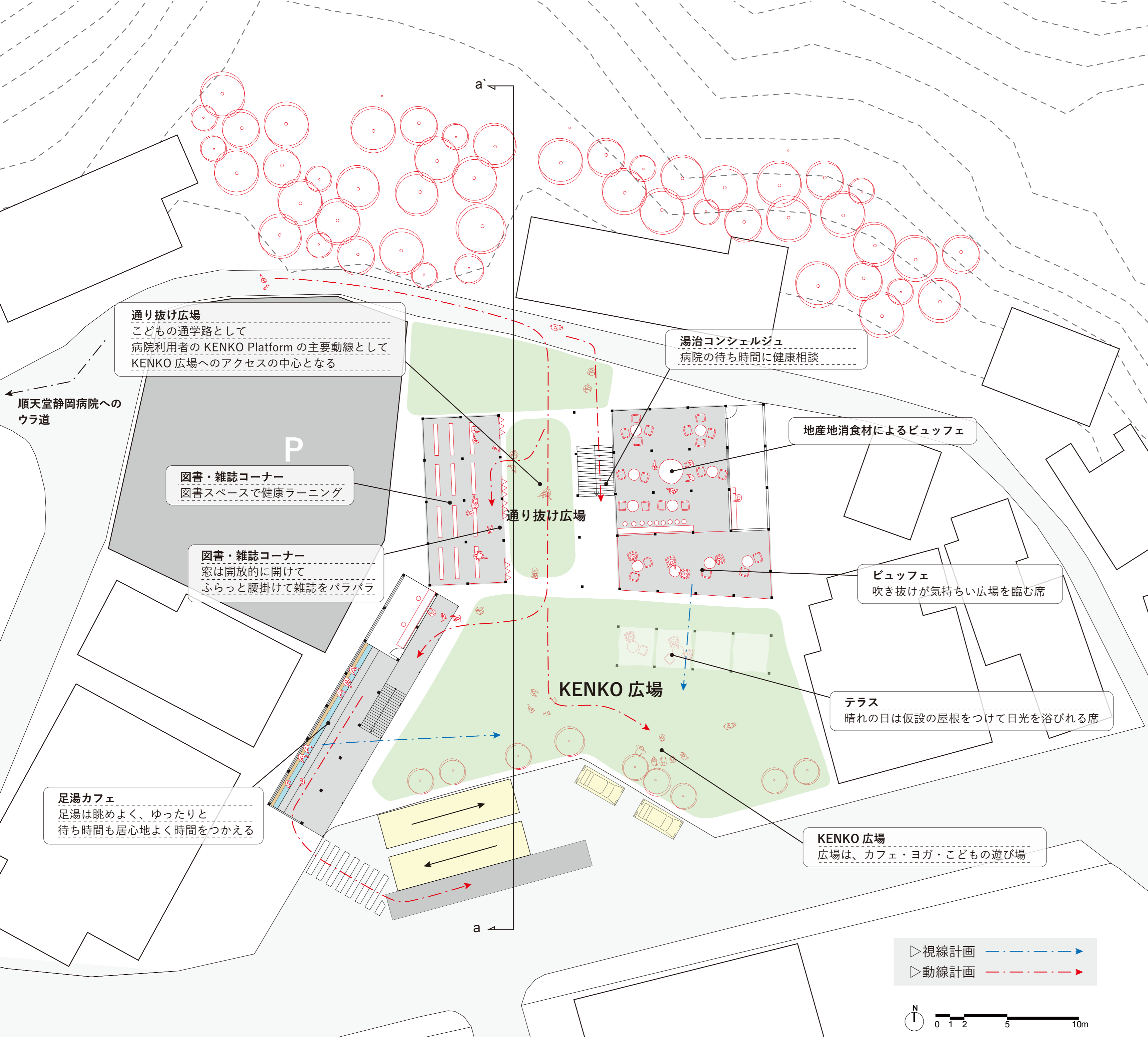
近くて遠かった温泉駅と病院。
県道は交通量が多く、歩くには適さない、
そこで裏道を小型モビリティでつなぐことで、
多くの人が温泉駅を利用できるように。



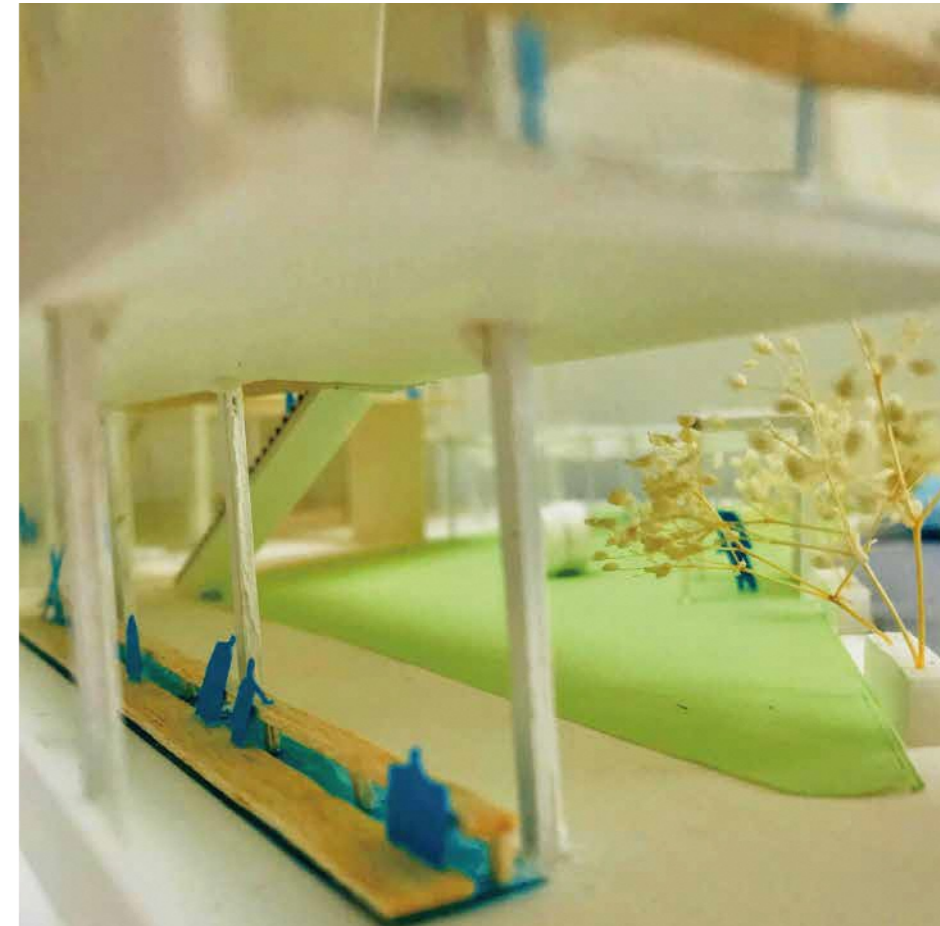
03 | Section 1/100



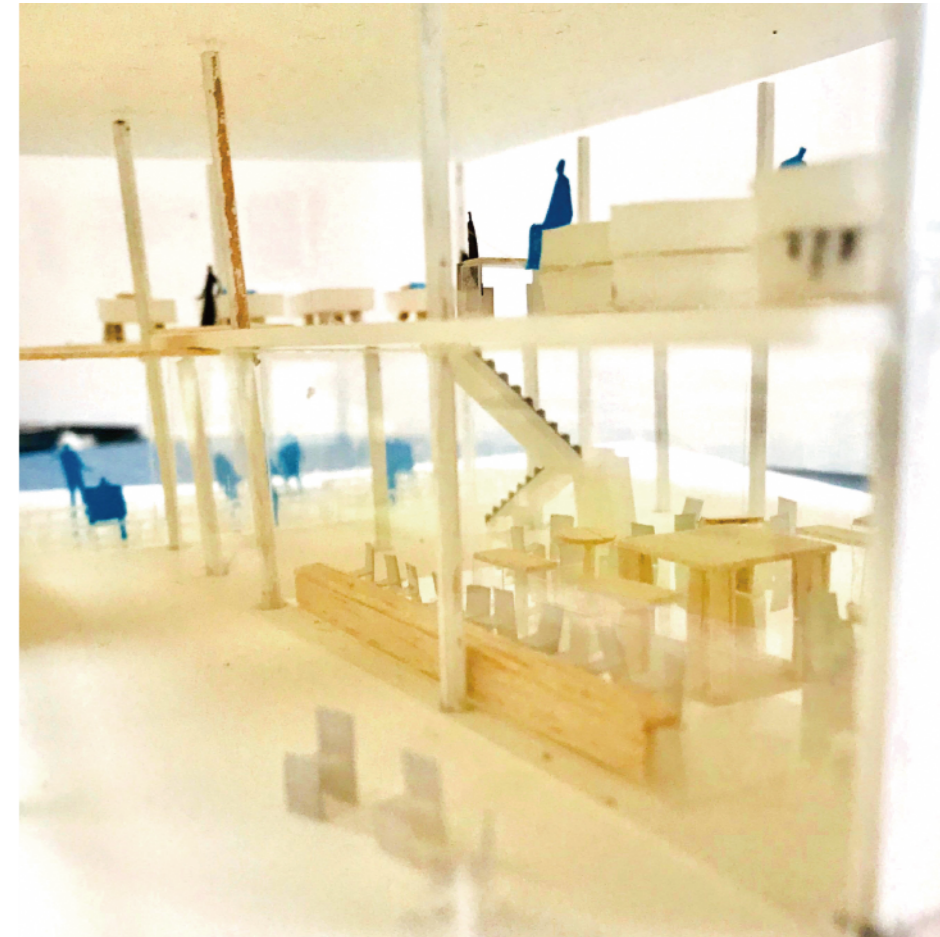
04 | Plan 1/200



05 | Model Photo



▷足湯カフェから KENKO 広場を眺める



▷地産産野菜で提供されるビュッフェの吹き抜け空間

06 | 2F Plan 1/400

